

第 32 回日本脳神経モニタリング学会 プログラム

9 月 26 日(土)

10:05～11:05 シンポジウム 1 脳神経外科手術を安全に行うための脳神経モニタリング

座長:守谷 俊(自治医科大学附属さいたま医療センター 救急科)

本山 靖(大阪けいさつ病院 脳神経外科)

S1-1 術中運動誘発電位により早期発見し得た弾性ストッキングによる総腓骨神経圧迫の 1 例

演者:高谷 恒範(奈良県立医科大学 麻酔科学教室 中央手術部)

S1-2 全身麻酔下術中 CCEP モニタリングにおける波形消失パターンと術後言語機能予後との関連

演者:本山 靖(大阪けいさつ病院 脳神経外科)

S1-3 脳神経外科手術における MEP オート閾値テスト

演者:田中 聡(千葉徳洲会病院 脳神経外科)

S1-4 片側顔面痙攣に対する初回手術時に AMR の完全消失にも関わらず早期再発を来した 1 症例

演者:原野 英(日本大学医学部 脳神経外科学系神経外科学分野)

11:05～11:45 特別講演 1

座長:吉野 篤緒(日本大学医学部 脳神経外科)

SL1 脳を護る方策:二次的脳損傷を防ぐために知るべき Tips とは

演者:横堀 将司(日本医科大学大学院医学研究科 救急医学分野)

11:45～12:45 シンポジウム 2 頭蓋内圧亢進の検出と脳神経モニタリングの可能性

座長: 稲次 基希(東京科学大学 脳神経機能外科学分野)

卯津羅 雅彦(東京慈恵会医科大学附属柏病院 救命救急センター)

S2-1 低侵襲頭蓋内圧上昇検出モデル構築のための pilot study

演者: 綾部 風雅(東京科学大学 脳神経外科)

S2-2 プロボクシング救護における Neurological Pupil index(NPi)の有用性 –左右差に着目した初期検討–

演者: 山田 翔大(日本医科大学付属病院 高度救命救急センター)

S2-3 瞳孔記録計(NPi-200)を用いたくも膜下出血患者の退院時神経予後予測の検討

演者: 松村 光(香川大学医学部附属病院 救命救急センター)

S2-4 三叉神経痛に対する微小血管減圧中の治療効果判定に有用な 新規脳神経モニタリング法

演者: 原野 英(日本大学医学部 脳神経外科学系神経外科学分野)

12:50～13:20 会長講演(昼食あり)

座長: 武田 吉正(東邦大学大森病院 麻酔科)

PL 生かされたいのちをつなぐ

演者: 荒木 尚(第32回大会会長/国際医療福祉大学医学部 脳神経外科)

13:25～14:05 招請講演

座長:前田 剛(日本大学医学部 脳神経外科・麻酔科)

Ⅱ 演者:栗原 淳(埼玉県立小児医療センター 脳神経外科)

14:05～15:05 シンポジウム 3 小児・乳幼児の脳神経モニタリング

座長:河北 賢哉(香川大学医学部 救急災害医学)

S3-1 当科における小児神経モニタリングの工夫

演者:板橋 悠太郎(群馬大学医学部附属病院脳神経外科)

S3-2 小児後頭蓋窩腫瘍手術における術中 MEP モニタリングの有用性 ―上下肢・顔面・声帯 MEP の検討―

演者:佐々木 寛人(福島県立医科大学 脳神経外科学講座)

S3-3 持続脳波モニタリングによる小児心停止蘇生後の神経学的長期予後予測

演者:加藤 宏樹(国立成育医療研究センター 集中治療科)

S3-4 悪性度の高い小児 posterior fossa ependymoma に対する術中脳神経モニタリング評価

演者:四條 克倫(日本大学医学部 脳神経外科)

15:10～15:55 シンポジウム 4 脳神経モニタリングのピットフォールと安全性

座長:戸村 哲(防衛医科大学校 防衛医学研究センター外傷研究部門)

S4-1 特定のシリンジポンプからのノイズが誘発電位波形に混入する事象

演者:黒石 勇樹(関西医科大学附属病院 医用工学部)

S4-2 小開頭手術での多重モニタリング戦略 Multimodal strategy for functional preservation in small craniotomy neurosurgery

演者:遠藤 乙音(愛知県厚生農業協同組合連合会 海南病院 脳神経外科)

S4-3 CEA 術中 SSEP における振幅低下の危険因子の検討

演者:稲次 基希(東京科学大学 脳神経機能外科)

15:55～16:35 特別講演 2

座長:三宅 啓介(香川大学医学部 脳神経外科)

SL2 小児・乳幼児の脳神経モニタリングをみつめる -小児神経外科 42 年間からみた なぜ子どもにモニタリングが必要か? -

演者:高橋 義男(とまこまい脳神経外科、他)